

**企業調査レポート**  
**(決算速報)**

安藤証券株式会社  
調査部：土田 陽一  
平成 24 年 2 月 7 日

**オリエンタルランド ( 4 6 6 1 )**

**業績推移** ( 連結ベース、単位は E P S と配当が円、他は百万円、予は会社側予想 )

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	E P S	配当
10/3	371,414 -4.6%	41,924 +4.6%	40,758 +5.0%	25,427 +40.6%	280.17	100.00
11/3	356,180 -4.1%	53,664 +28.0%	52,887 +29.8%	22,907 -9.9%	265.26	100.00
12/3 予	354,710 -0.4%	61,760 +15.1%	61,050 +15.4%	29,510 +28.8%	353.77	100.00

**主要株価指標** ( 株価、配当利回りのカッコ内は日付 )

株 価	連結 P E R	連結 P B R	配当利回り
8,220 円 ( 2 / 6 )	23.2 倍 ( 12 / 3 期 予 )	1.8 倍 ( 11 / 12 期 )	1.3 % ( 2 / 6 )

**業績動向**

2011年4 - 12月期の連結業績は、主力のテーマパーク事業で震災による休園が響いて減収減益となったものの、7 - 9月期 ( 第2四半期 )、10 - 12月期 ( 第3四半期 ) とともに入園者数が過去最高となったほか、チケット価格改定の効果や東京ディズニーシー10周年関連商品の好調などで入園者一人当たり売上高が前年同期を上回る水準を達成、テーマパーク固定費を前年同期レベルに抑制したことで第2、第3四半期ともに営業利益が過去最高となった ( 4 - 12月期実績は売上高が前年同期比8.4%減、営業利益が同2.6%減、経常利益が同2.4%減、当期利益が同18.6減 )。

2012年3月期通期の業績予想について会社側は、昨年11月4日に公表した業績予想を上方修正、売上高は同予想を115億4千万円、営業利益は同59億6千万円、経常利益は同60億4千万円、当期利益は同1億円上回る見通しである。テーマパーク入園者数が従来の前提を50万人上回る見通しとなったほか、東京ディズニーシー10周年関連商品の好調などで入園者一人当たり売上高も上回る見通しとなったためであるが、入園者数の増加は4 - 12月期に会社側予想を上回った分のみが織り込まれている模様で、1月も過去最高となった模様であることなどを考慮すれば、今期業績は会社側予想を上回る可能性が高いものと思われる。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様御自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は、信頼出来ると考えられる情報に基づいて作成されていますが、安藤証券は、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、今後、予告なく変更される事があります。事前の了承なく複製または転送等行わないようお願いいたします。